

# 府民の森くろんど園地探鳥会 (毎月第4土曜日両園地通算第 279 回)

令和6(2024)年6月28日(土)9:30～14:30頃 日本野鳥の会大阪支部  
友田武・神戸徹・近藤輝男・沖光二・新名泰博・平軍二 (090-6901-1425)

## I 交野の鳥シリーズ(127)アオバト

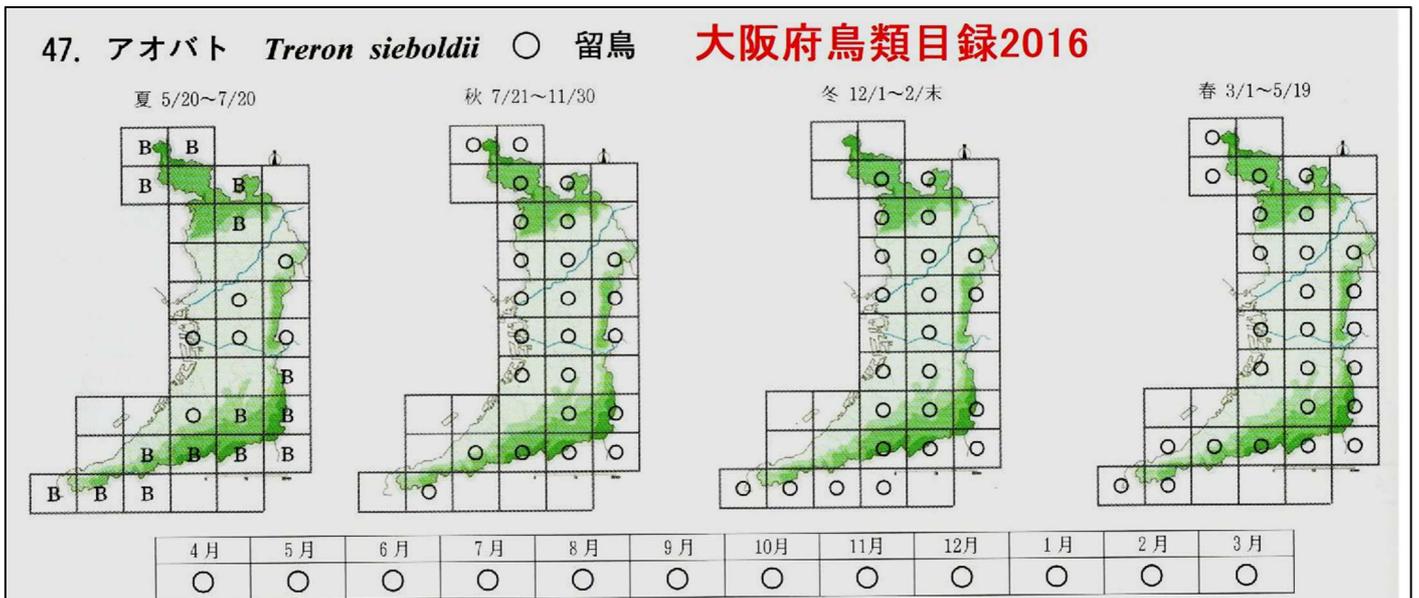


20240525 渡邊信義

今月の鳥は、5/25 ほしだ園地探鳥会で確認されたアオバト、渡邊信義氏の写真を利用させていただきました。先月探鳥会の前日、「人近くの木に来たアオバトがいた」と聞いていた。当日、園地の職員の方から「今日、地上に降りていたので、屋外(林内)にそのまま保護、経過を見ている」とのことで、その現場を見せていただいた。アオバトは地上をゆっくり歩いていたので、自分で餌を探せるだろうと思われ、そのまま経過を見てもらうこととした。

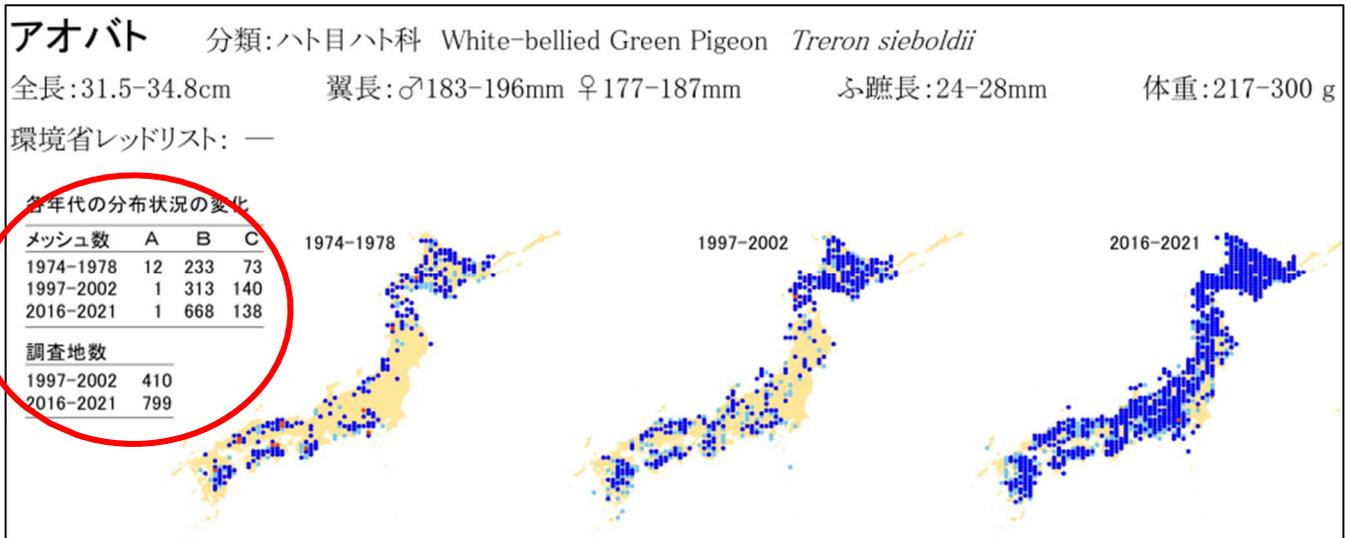
アオバトは冬に都市公園や山地の樹林で観察されることが多く、冬鳥と思っているが、下図 I-①のように、大阪府鳥類目録 2016 では大阪府全域でほぼ一年中観察されていることから留鳥である。繁殖の(A ランク条件)で確認した記録はまだないが、「アオバトが営巣しえる環境で、繁殖期にその種に囀りを聞いた」という B ランク条件での確認は、大阪府南北の山地で確認されている。

### I-①大阪府鳥類目録 2016 アオバト(日本野鳥の会大阪支部)



## I-②全国鳥類繁殖分布調査報告 2016-2021年 鳥類繁殖分布調査会

全国的にはアオバトの繁殖分布のBランク地(赤○)が大きく拡大しています。5月にほしだ園地でアオバトが確認されたことも、アオバトの繁殖地拡大の兆候かもしれません。



## II 先々月4/27くろんど園地、先月ほしだ園地探鳥会結果

**4/27くろんど園地** 「スタート～終了まで春の渡り鳥・留鳥のさえずりが切れ目なし」、しかもオオルリ・キビタキ・センダイムシクイなどのシャッターチャンスが何回もあり、春の鳥を満喫することができた。



**5/25くろんど園地** 私市駅に営巣中のツバメを見てスタート。私市集落では餌を啜えたセグロセキレイや



イソヒヨドリが民家の屋根にいた。天野川沿いハイキング道で、カワセミの飛翔、林の中からウグイスの「法華経」とセンダイムシクイの「焼酎一杯ぐいー」を聞いた。今日の資料に入れたハヤブサは、ほしだ園地事務所の「ピトンの小屋」前の岸壁にも、見張り場所としている送電線の鉄塔にもおらず、観察できなかった。園地内の林ではキビタキの歌声を何回も聞くことができたが、姿は数人の方が見たのみで終わった。往復5時間の探鳥コースで鳥はあまり出なかったが、交野吊り橋「星のブランコ」では360度の新緑を楽しみ、爽やかな風を受けるなど、緑陰を楽しむことができた。(アオバトについてはP-1に詳記)

